



わかたけっこ

開校152周年 第6号 令和7年10月1日発行

吉川市立吉川小学校
児童数 509名
学級数 22学級
電話 048 (982) 2420
FAX 048 (982) 2363



ホームページQRコード

ACT1【生活体験を】

友達にわがままを押しつけてみる。すると、けんかになる。殴られたら痛い。殴るといやな思いをする。人の物を勝手に使う。使われた方は、取られたと思い嫌な気持ちになる。おじいちゃん、おばあちゃんの手を握ってみる。骨ばっているけれど、温もりから、人生が感じられる。そして、温かな気持ちになる。・・・こういう色々な体験から、こうすればこうなるんだな。こうすると、こんな失敗をするんだな。こうすることでこんな気持ちが伝わるんだなと学ぶ。そういう体験を生活体験という。これが多ければ多いほど、この先いろいろな場面にでくわしても何とかできるのである。それが、体験した者の強みである。

自分がたたかれれば痛いように、相手も痛いのである。ところが、相手の痛みには全く思いが及ばない。見える学力と見えない学力というものがあるとすれば、「国語がよくできて、よい成績だ」とか「算数の計算が正しく速い」といった力は、見える学力。その一方で、「人を思いやることができる。」「挨拶や返事がさわやかに行ける。」「人の痛みが分かる。」「明るくって、周りの人を楽しくできる。」といったような力は見えない学力と言えよう。実は、この見えない学力というものは、授業で身につけるといったものではないように思うのですが、どうでしょうか。

これこそが、まさに生活体験の産物なのではないでしょうか。この見えない学力というものは、いずれ見える学力と並び、社会で生活する際には、必要不可欠となると思います。

ACT2【語彙力】

人は自分の持っている言葉の数で様々なものを理解します。ある人が持っている、ある言語の単語の総体を語彙と言います。この語彙をたくさん持っている人は、より細かく自分を見つめることができます。そして、人の言っていることを受け止めるにしても語彙が少なければ、より正しく受け止めることができません。それは言葉というものが人と人との理解を生み出すための大事な道具の一つだからです。道具を持っていなければどうしたって理解に結び付きにくいであろうことは想像に難くありません。この言葉の獲得というのは当然発達段階で違いがありますが、子どもが初めて口にする意味のある言葉は生後1年ほどで現れると言われています。ネットで調べてみると幼児期に使う語彙数は一般的には、1歳から1歳半頃には50語程度を話すようになり、2歳頃までに子どもの話す言葉の数は急速に増えて約200語、その後、1日5～7語もの早さで語彙を身につけ、5歳になる頃には5,000～10,000語も習得すると言われています。

さて、持っている語彙が少なければ、行動は至って短絡的にならざるを得ません。短絡的とは原因と結果をせっかちに関連づけ、物事の本質を考えないことです。頭にきた・・・ぶっとばす 欲しい・・・取ってしまえ うるさい・・・家を出ていく。この・・・の部分では言葉を通して様々な葛藤やためらいがあるはずなのに、語彙が少ないために間違った取り返しの付かない行動となってしまうのではないのでしょうか。

語彙力を増やす近道は、「聴く」「話す」「読む」「書く」しかありませんね。それをすべて兼ね揃えているものといえば、「授業」ですね。

「勉学の秋」「読書の秋」「芸術の秋」・・・・・・・・・・「食欲の秋」「スポーツの秋」ですね。



校長 窪田 和彦

行事予定は変更になる可能性があります

10月の主な行事予定

1	水	全校集会	わかまる賞表彰 月曜授業②
2	木	学習	陸上大会応援集会（昼）
3	金	読書	4年校外学習
4	土		
5	日		
6	月	学級	
7	火	学習	市陸上大会 クラブなし
8	水	読書	市内陸上大会予備日
9	木	学習	
10	金	読書	2年生活科 町たんけん たけたん5・6年生南中学校見学
11	土		
12	日		市民体育祭
13	月		スポーツの日
14	火	学級	クラブ⑥
15	水	なかよし	就学時健康診断 短縮3時間授業（給食あり）
16	木	学習	授業研究会（体育）5時間授業
17	金	読書	避難訓練（火災・ロング昼休み）
18	土		
19	日		
20	月	学級	
21	火	学習	クラブ⑦ ふれあいデー
22	水	読書	朝の読み聞かせボランティア来校 6年生修学旅行（鎌倉・小田原）
23	木	学習	6年生修学旅行（鎌倉・小田原）
24	金	読書	
25	土		
26	日		
27	月	学級	あいさつ運動③31日まで
28	火	学習	クラブなし 1, 2年合同遠足 SC 来校
29	水	学習	3年遠足 保幼小見学会
30	木	全校集会	わかまる賞表彰 たてわり班活動
31	金	読書	

《 今月の生活目標 》

時間を守ろう！

《 今月の保健目標 》

目を大切にしよう！



あいさつ運動を実施

8日（月）から12日（金）の期間、5年生が昇降口に立ってあいさつ運動を行いました。また、3日（水）には「なまりん」が16日（火）には中原市長が来校し、校門で子ども達とあいさつを交わしました。あいさつはとても短い言葉ですが相手の心を温かくし、お互いを笑顔にする魔法の言葉です。自分から進んで気持ちのよいあいさつができるといいですね。



災害時、自分の命を守る行動を確認

最近、地震や火災、線状降水帯による水害に関するニュースをよく耳にします。17日（水）の全校集会で、災害時の行動や備えについてお話ししました。また、5年生が水害を想定して、学区付近の地図に、自宅・学校・水路・通学路をプロット後、水害時のその場所の危険性などを考え、危険の回避方法、自らの安全を確保するための行動ができる方法を班で話し合いながら学習しました。

万一の災害の際、自分の命を守る行動がとれることがとても大切です。ぜひご家庭でも万一の災害に備えて話してみてください。



4年生がリユース見学に行きました

18日（木）に、4年生が社会科見学で清掃工場（リユース）を訪れました。吉川市を含めた4市1町のごみを処理している施設で、子ども達はプラットホームに集められたごみを大きなクレーンが掴み、高温の炉に入れる様子を見学したり、職員のごみ処理の工夫についての説明を聞いたりしていました。大量の集められたごみを見て、子ども達はごみを減らす工夫も考えていました。



5年生 社会科見学

24日（水）に5年生が社会科見学で中島紺屋とグリコピアCHIBAを訪れました。伝統工芸の藍染を体験したりやお菓子（アイス）が生産されている様子を見学したりしました。伝統的な技法や最新の設備等を実際に見学することで、子ども達は学びをさらに深めていました。

